令和7年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 提案機関 神奈川県内水面漁業協同組合連合会 068 名

要望問題名 マス類・在来ヤマメの種苗生産について

要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模(面積、数量等) 】

アユを対象とした遊漁者人口は、減少傾向にあります。しかし、一方では、自然環境に恵ま れた淫流域でヤマメ、ニジマス類などの魚を対象とした魚釣りが、若者を中心に大きな広がり をみせ、遊漁者人口も増加しております。

これら釣り人の期待に応え内水面漁業の振興発展を図ってゆくためには、渓流魚の量産体制 の整備並びに本県在来系ヤマメの種苗生産を早期に実施願いしたい。

解決希望年限 ① 1 年以内 ②2~3年以内 ③4~5年以内 ④5~10年以内 対応を希望す ①農業技術センター ②畜産技術センター ③水産技術センター る研究機関名 ④自然環境保全センター 備考

回答機関名 水産技術センター 担当部所 内水面試験場

対応区 分

① 実施 ②実施中 ③継続検討 ④実施済 ⑤調査指導対応 ⑥現地対応 ⑦実施不

試験研究課題名 (①、②、④の場合)

在来ヤマメ漁場環境再生事業

対応の内容等

在来魚の種苗生産については、本県の「農林水産関係試験研究推進構想 水産業の部(令和5 年3月)の試験研究課題(中課題)で「在来ヤマメの保全と増殖技術の開発」として掲げてお ります。

そこで、渓流魚を活用して内水面漁業の振興を図るため、丹沢在来ヤマメを由来とする種苗 の生産技術開発や内水面漁業者への技術普及を進めているほか、今後は養殖業者への種苗生産 技術の普及も図り、量産体制の拡充にも取組んでまいります。

解決予定年限 ①1年以内 ②2~3年以内 ③4~5年以内 ④5~10年以内

備考